

事業番号	258
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	雨水排水ポンプ場施設管理事業						担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系		担当課	河川課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	維持係		
	総合計画 分野別計画	主目的	6 都市基盤		26 河川・水路		1 浸水区域を解消します				
		副目的									
	予算区分	款	8	項	3	目	2	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	近年多発しているゲリラ豪雨や台風による大雨に備え、ポンプ場施設を常に良好な状態に保つ。									
	内容 (手段)	<p>定期的な施設、設備等の月点検を行なっている。又、年1～2回の総点検を実施。不良部品、不具合箇所が見つければ取り替え、修繕等を実施。</p> <p>【委託業務内容】 保守点検業務の委託 藤島ポンプ場保守点検業務委託 自才ポンプ場保守点検業務委託 自家用電気工作物保安管理業務委託 等</p> <p>【修繕内容】 ・H25実施 藤島ポンプ場修繕工事(1件):排風機盤改造 自才ポンプ場修繕工事(2件):空気槽修繕外、ポンプ井排水ポンプ点検外</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 保守点検管理委託料(5,169千円) 光熱水費(1,265千円) その他、消耗品・燃料費・修繕料・通信運搬費等(1,475千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 保守点検管理委託料(5,667千円) 光熱水費(1,570千円) その他、消耗品・燃料費・修繕料・通信運搬費等(1,626千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	7,128	7,399	7,909	8,863	
		正職員	従事者数	人	0.15	0.15	0.15	0.15
			人件費	千円	789	789	789	789
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	7,917	8,188	8,698	9,652
対前年比		%		103.4	106.2	110.9		
財源	一般財源	千円	7,917	8,188	8,698	9,652		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	施設点検回数	回	目標	30	30	29	30
			実績	30	30	29	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26
修繕工事	工区	目標	—	—	—	—	
		実績	3	1	3		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	
	事業の達成状況	定期的に施設・設備の点検を行うことにより、施設を良好な状態に保つとともに、不良部品・不具合の早期発見、効率的な修繕を実施(H25:3件)し、1年間を通じ適正な施設稼動と施設の良好状態維持を保った。
	事業実施における課題	劣化の進行が著しく、今後は簡易な取替及び修繕による対応のみでは、施設の良好状態維持が困難な状況が懸念される。
	事業を縮小・廃止したときの影響	供用開始以来、藤島ポンプ場は30年以上、自才ポンプ場は10年が経過し、劣化の進行は著しい。事業を休止することは、故障等による施設の機能停止の恐れがあり、地域の浸水を軽減することができず、甚大な被害が生じることとなる。
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等) 設備機械の更新を完了した藤島ポンプ場について、現状に合わせた内容とすべく、改めて点検項目等を精査し、点検回数を定めている。
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持 事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	活動指標に基づく点検を実施し、施設の良好状態維持が適正に図れていることから、現状維持と判断した。
	27年度以降の改善案	施設の長寿命化対策として、設備機械の更新を実施するとともに、対策に応じた経費削減を図った管理を目指す。

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。